

総合的な 探究の時間 リーフレットの 使い方

探究が高度化し、自律
的に行われるためには

本リーフレットは、高等学校及び特
別支援学校高等部の先生方を対象
に作成したものです。

先生方の「どのようにしたら探究にな
るのだろう」「探究するための手立ては
どのようにしたらよいのだろう」という疑
問に答えられるよう工夫して構成しま
した。

リーフレットは A 3 判両面印刷を想
定しており、表面は、探究の過程の
プロセスを漫画で紹介、裏面は、探
究の定義や探究を高度化していくた
めの工夫についてまとめています。

詳しい使い方は、右の欄を御覧く
ださい。

なお、色使いにも工夫をしているた
め、**カラーでの印刷**をおすすめします。

元々は、先生方を対象にして作
成しましたが、生徒用としても役立つ
ものになりました。

各学校の実態に合わせて活用して
みてください。



活用の仕方をご紹介します

調べ学習ではなく探究にするために

表面は探究の
過程のプロセス
を**漫画**で紹介
しています



登場人物は、高等学校
第 1 学年のタマダさん、先生と同級
生のリエさんです。

探究課題を何にするか悩んでいるタマ
ダさんにどのように先生が関わってい
くのか、またどのように友だちが関わっ
ていくのかについてまとめています。
課題の設定には、特にコマ数を要し
ています。課題の設定で、どれだけ自
分事にできるかがポイントだと考えて
いるからです。

ポイント① 黄色の吹き出し

→ 指導者がどのようにファシリテ
ートしていけばよいのかについて整理
しています。具体的な支援につい
て、会話形式で示しています。

ポイント② ピンクの四角囲み

→ タマダさんの課題は、⑪コマ目
でやっと設定されています。
また、⑩コマ目では、更に課題が
練り上げられ、探究のスパイラルア
ップが図られています。

裏面は探究の
定義や**探究を
高度化していく
ための工夫**を
紹介して
います



裏面は、表面で登場したタマダさん
とリエさんが、探究に関わるさまざま
なキーワードについて説明していま
す。例えば左上の会話では、探究
の定義について触れています。
総合的な探究の時間がどんな時間
なのかについて、生徒と考える時の
ヒントとして裏面は使ってください。

ポイント① 右下の水色の円

→ 探究課題が食品ロスであつ
た場合にどのような知識とつなぐこ
とができるかを具体的に示してい
ます。

また、考えるための技法を使うこ
とで生徒の思考を助けることにつ
ながります。

ポイント② ピンクの四角囲み

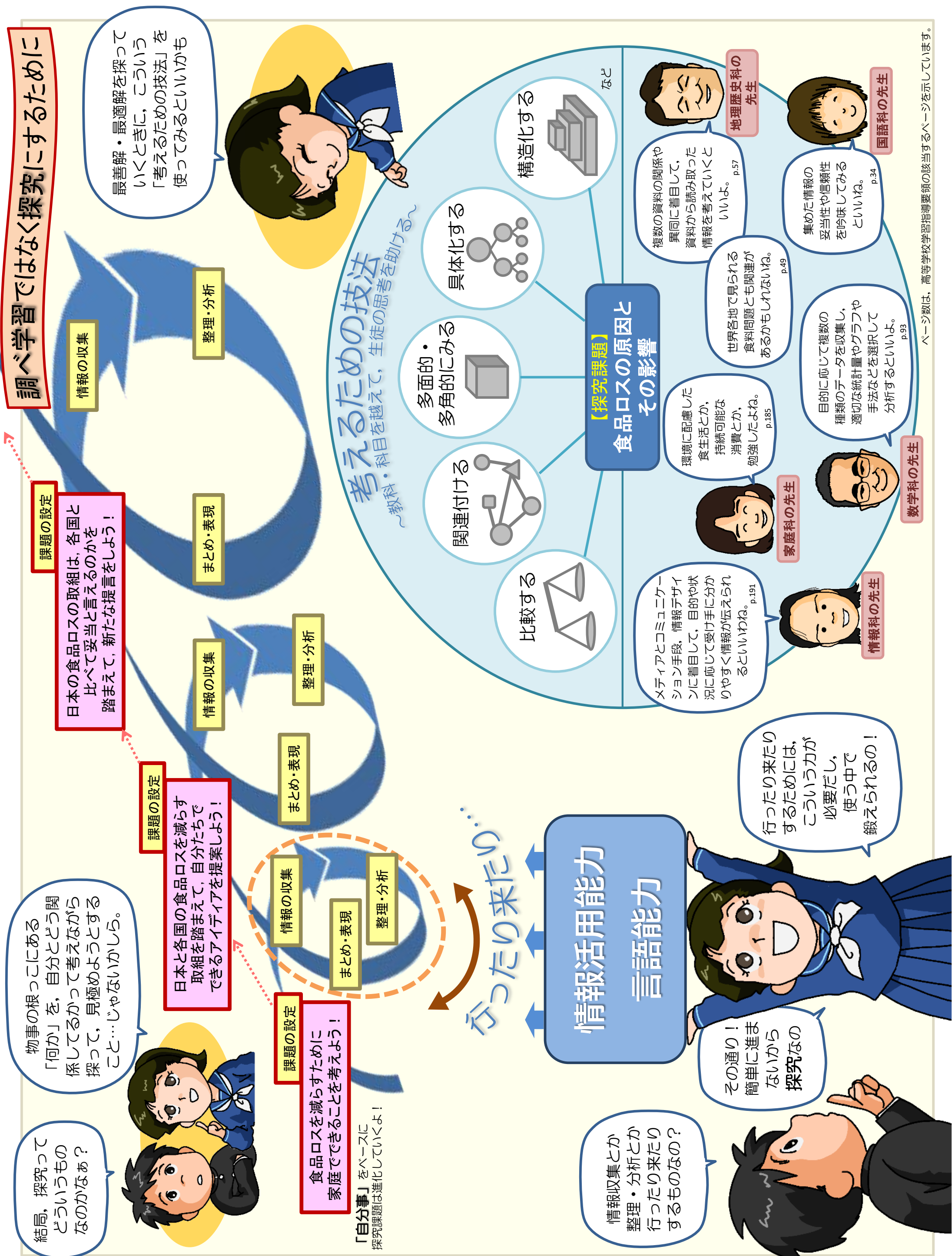
→ タマダさんの設定した課題が
どのように練り上げられているかにつ
いて整理しています。少しずつ
問いのレベルが高まっています。

探究が高度化し、自律的に行われるためには

～ある探究の場面から～



調べ学習ではなく探究にするために



最善解・最適解を探っていくときに、こういう「考えるための技法」を使ってみるといいかも

情報の収集

まとめ・表現

整理・分析

まとめ・表現

情報の収集

まとめ・表現

整理・分析

課題の設定

食品ロスを減らすために家庭でできることを考えよう！

「自分事」をベースに探究課題は進化していくよ！

考えるための技法
～教科・科目を越えて、生徒の思考を助ける～

多面的・多角的にみる

関連付ける

比較する

具体化する

構造化する

【探究課題】
食品ロスの原因と
その影響

メディアとコミュニケーション手段、情報デザインに着目して、目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報が伝えられるといいわね。
p.191

情報科の先生

家庭科の先生

環境に配慮した食生活とか、持続可能な消費とか、勉強したよね。
p.185

世界各地で見られる食料問題とも関連があるかもしれないね。
p.49

目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフや手法などを選択して分析するといよ。
p.93

数学科の先生

国語科の先生

集めた情報の妥当性や信頼性を吟味してみるというね。
p.34

複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報を考えていくといいよ。
p.57

地理歴史科の先生

行ったり来たりするためには、こういう力が、必要だし、使っ中て鍛えられるの！

その通り！簡単に進まないから探究なの

情報収集とか整理・分析とか行ったり来たりするものなの？

物事の根っこにある「何か」を、自分とどう関係してるかって考えながら探って、見極めようとするって...じゃないかしら。

日本と各国の食品ロスを減らす取組を踏まえて、自分たちでできるアイデアを提案しよう！

課題の設定

日本の食品ロスの取組は、各国と比べて妥当と言えるのかを踏まえて、新たな提言をしよう！

課題の設定

情報の収集

調べ学習ではなく探究にするために